

差別

に対する

関心

に変えるための

無関心を

マジョリティに向けた教育

ヘイトスピーチや沖縄県民に対する「土人発言問題」、部落に対するオンライン上での差別行為、など、日本社会では差別が解消される傾向はみられません。こうした問題の根底にはマジョリティ側の「自分は差別なんかしていない」「自分にとって差別は他人事ではない」といったメンタリティがあります。

差別の問題を自分の問題としてマジョリティ側(社会的強者)に取り組んでもらうにはどうすればよいのでしょうか。

その一つの鍵は、マジョリティ側に自分たちの持つ特権(ある社会集団に属することで労なくして得られる優位性)に気づかせ、差別構造において自分たちが恩恵を受けているという自覚を促すことではないかと考えます。マジョリティの「無関心」ほど、マイノリティにとって抑圧的なものはありません。マジョリティの意識改革をするためのアイデアをアメリカのプリビレッジ・スタディーズの観点から紹介します。

参考資料『真のダイバーシティをめざして:特権に無自覚なマジョリティのための社会的公正教育』
(ダイアン・J・グッドマン著、出口真紀子監訳 田辺希久子訳、2017)

2017年3月11日(土)午後2時~4時(受付 1時半)

会場 大阪教育大学天王寺キャンパス西館第1講義室(最寄駅:JR天王寺または寺田町)

資料代 500円

[地図](#)

講師

出口真紀子さん
(上智大学准教授)

申込み・問合せ ヒューライツ大阪

TEL:06-6543-7003 〒550-0005 大阪市西区西本町1-7-7 CE 西本町ビル8階
Webmail[\[a\]hurights.or.jp](mailto:[a]hurights.or.jp)([\[a\]](mailto:[a]@hurights.or.jp)を@に変えてください)

共催 (一財)アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)/
大阪教育大学教職教育研究センター(人権・生活科教育部門)/大阪市立大学大学院創造都市研究科

後援 NPO法人おおさかこども多文化センター、大阪多様性教育ネットワーク